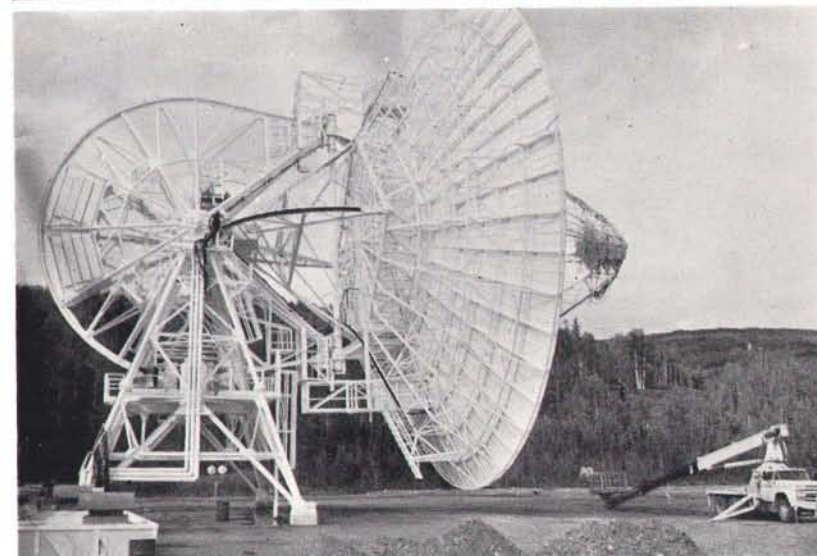
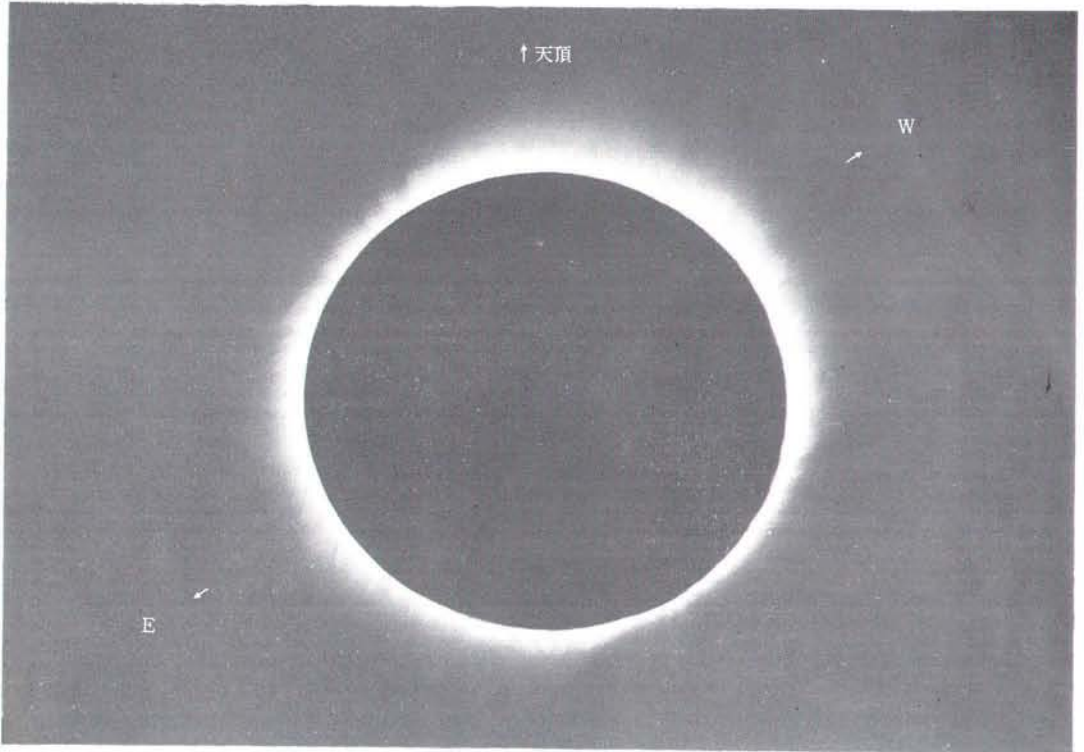


◇アラスカ日食だより

この頁の写真3葉はアラスカでロッキード日食観測隊に参加された東京天文台の斉藤国治氏から送られてきたもので、写真上は観測隊の設置風景、右が観測小屋でこれを取まいて5つの居住テントが立ならぶ。中央が斉藤氏のテント、観測小屋の左の人物の左端が観測隊長のストッダード (Laurence G. Stoddard) 写真中はシーロスタットを操作するカーソン (Donalb G. Carson)、写真下は見学にいった電波望遠鏡で、アラスカのギルモアクリークにある NASA 所属のもので、人工衛星の追跡に使う。

1マイルはなれて同型のものが2個あり、同時操縦して使う。





◇生駒山観測所班の日食観測

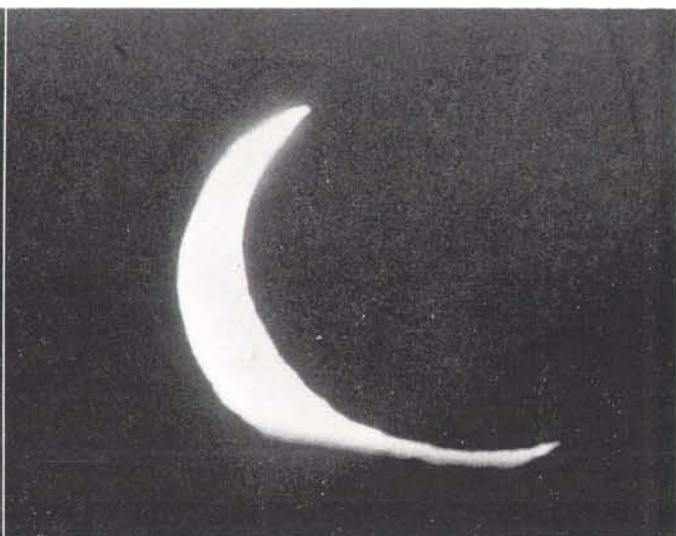
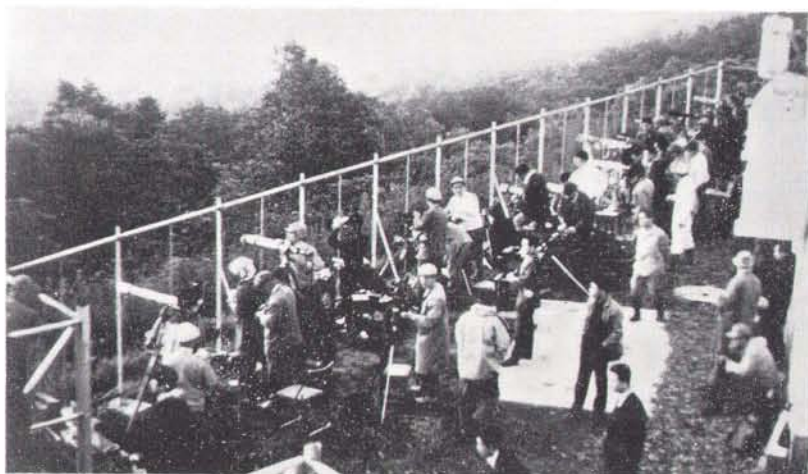
写真上は北海道知床半島の羅臼岳の東側のラウス平で生駒山太陽観測所の日食観測班が7月21日4時14分10秒に、日光67mmにニコンカメラを付けF16に絞ってTri Xフィルム、1/125秒で写したコロナ。約8倍に引伸してある。

写真下は観測風景で、器械は左より980mm、350mm、500mm、5m反射カメラの順、中央後姿は堀井政三氏、以上2枚は古田清正氏より送られたもの。

◇各地の日食観測

写真上は美幌のマイクロウェーブ中継所に集った日食を見る人々

(小山ひさ子氏撮影)



中の写真は群馬県の会員井田益雄氏が網走で写された欠けゆく太陽。左が4時3分、右が4時5分。下の写真は同氏が4時14.5分に撮影されたダイヤモンドリング(226頁参照)

